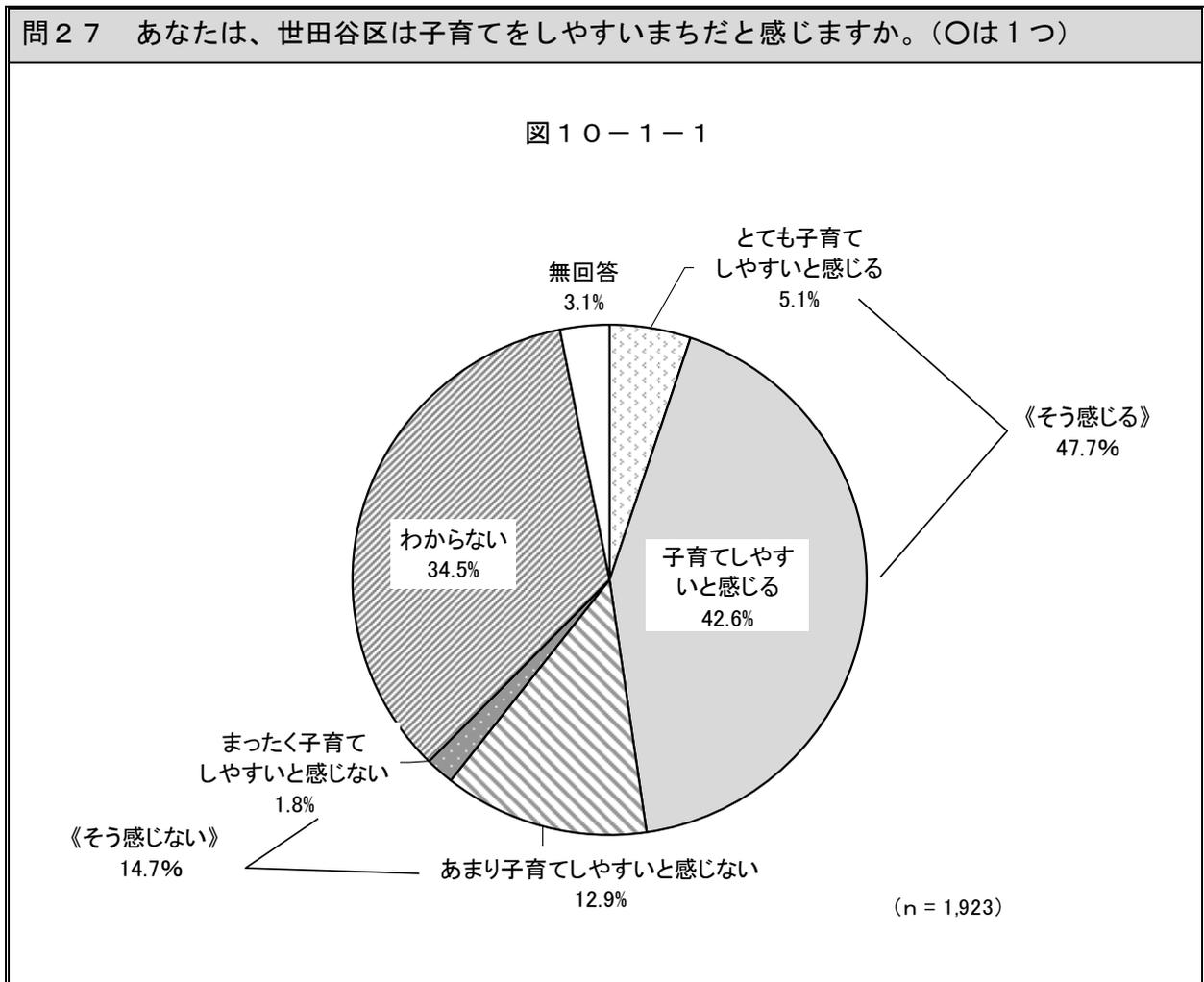


## 10. 子育て・子どもを取り巻く環境

### (1) 区の子育て環境

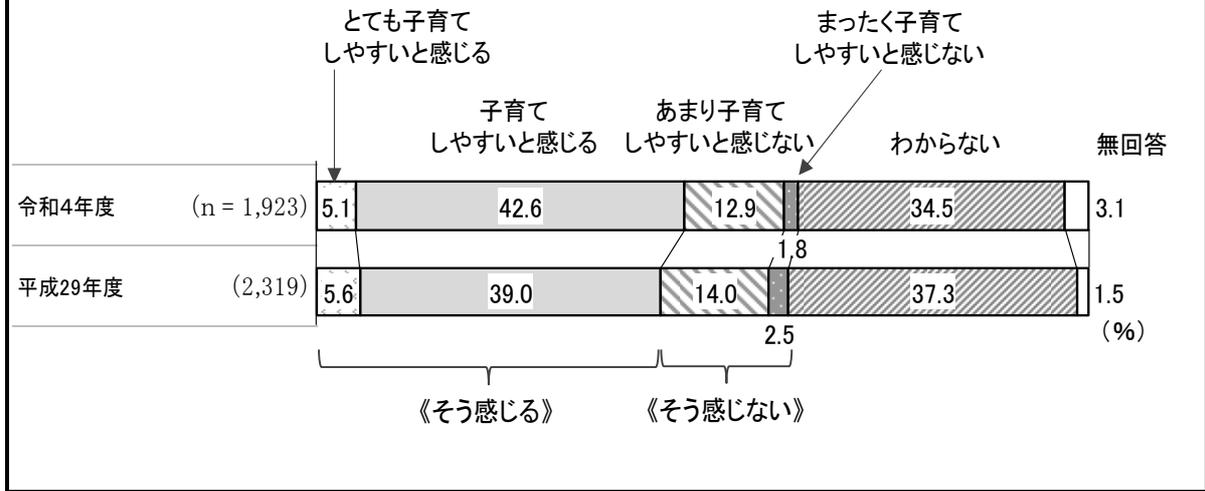
◎「とても子育てしやすいと感じる」と「子育てしやすいと感じる」を合わせると5割近く



世田谷区の子育て環境について聞いたところ、「子育てしやすいと感じる」(42.6%)が4割を超え、「とても子育てしやすいと感じる」(5.1%)と合わせた《そう感じる》(47.7%)が5割近く、「あまり子育てしやすいと感じない」(12.9%)と「まったく子育てしやすいと感じない」(1.8%)を合わせた《そう感じない》(14.7%)が1割半ばとなっている。

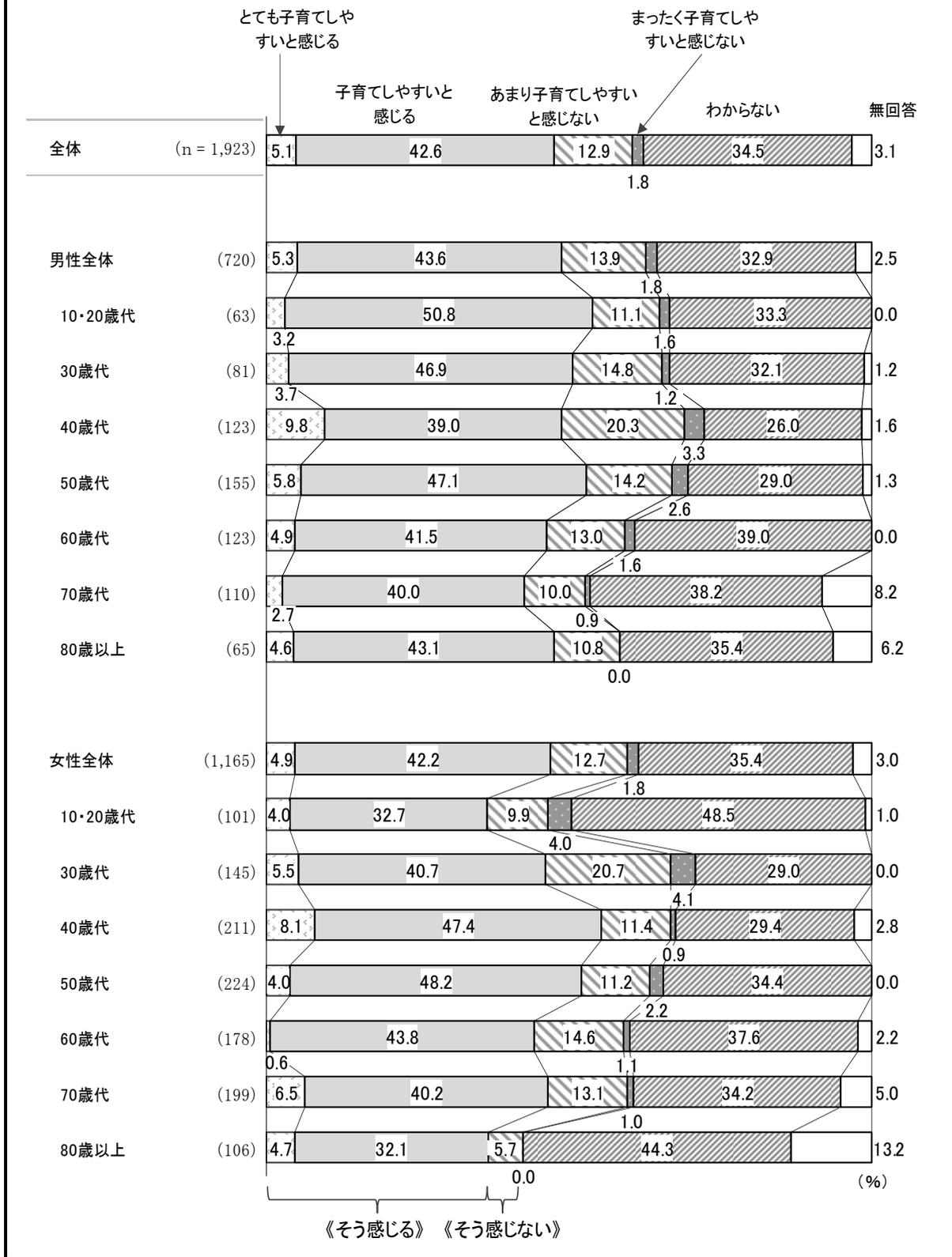
(図10-1-1)

図10-1-2 区の子育て環境（時系列）



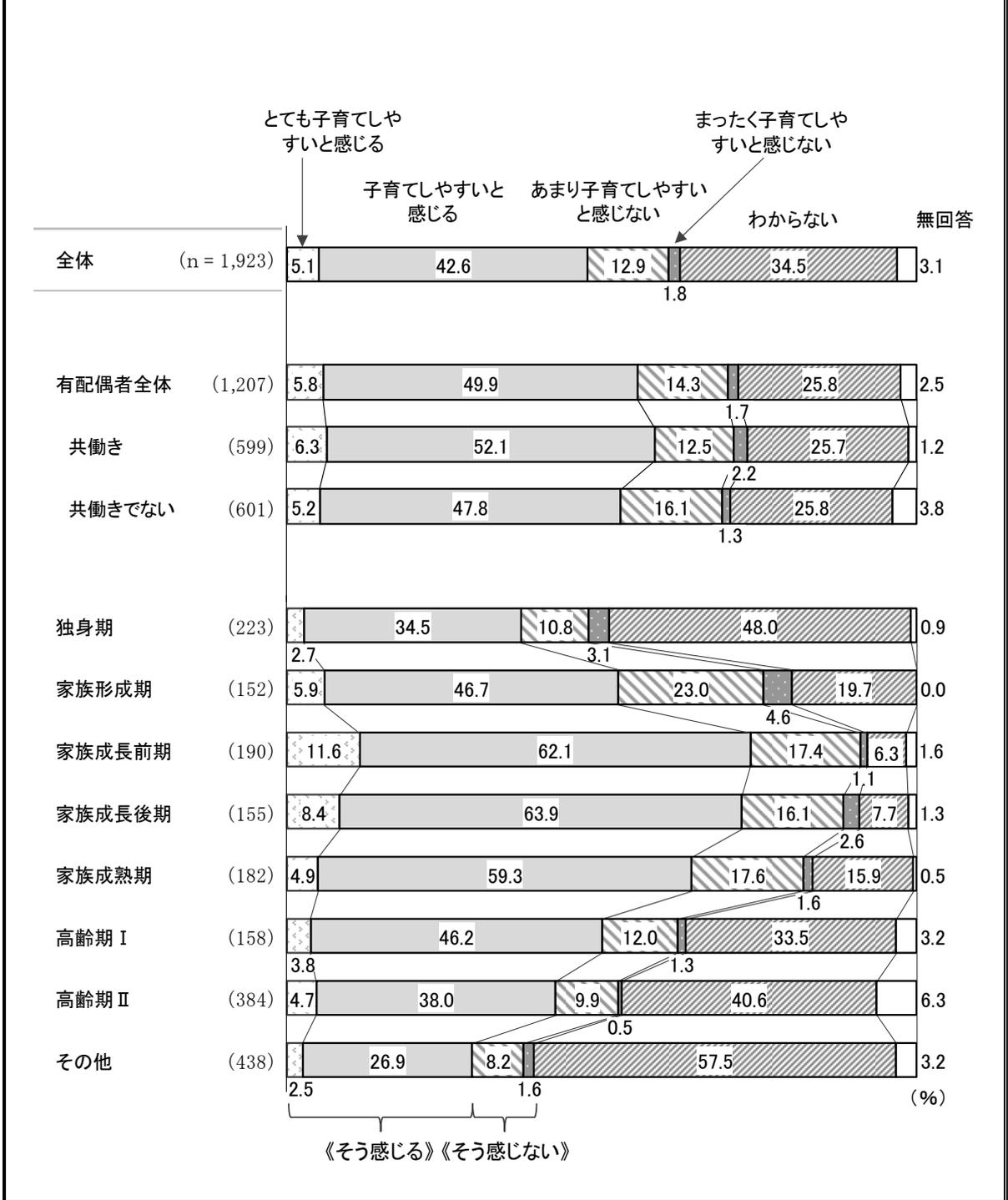
平成29年度からの時系列の変化をみると、《そう感じる》は平成29年度（44.6%）から令和4年度（47.7%）でやや増加している。《そう感じない》は平成29年度（53.1%）から令和4年度（49.2%）でやや減少している。（図10-1-2）

図 10-1-3 区の子育て環境（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《そう感じる》は男性の10・20歳代、女性の40歳代で5割半ば、男性の50歳代、女性の50歳代で5割を超えている。《そう感じない》は女性の30歳代で2割半ば、男性の40歳代で2割を超えている。（図10-1-3）

図10-1-4 区の子育て環境（共働きの有無別・ライフステージ別）



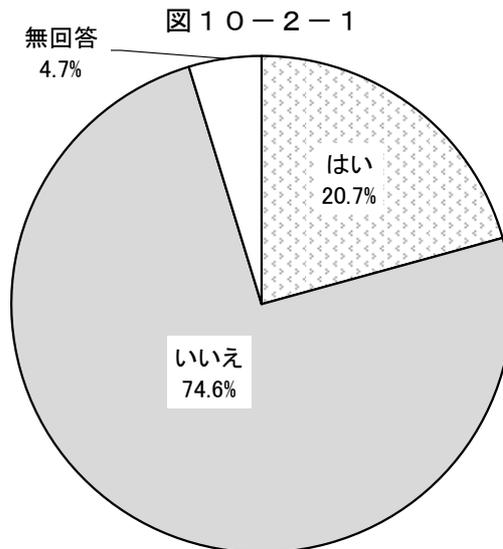
共働きの有無別にみると、共働き世帯、共働きでない世帯との間で大きな傾向の違いはみられない。

ライフステージ別にみると、《そう感じる》は家族成長前期、家族成長後期で7割を超えている。一方、《そう感じない》は家族形成期で3割近くとなっている。（図10-1-4）

(2) 子育てについて相談できる人の有無

◎「相談できる人がいる」が7割半ば、「相談できる人がいない」が2割半ば

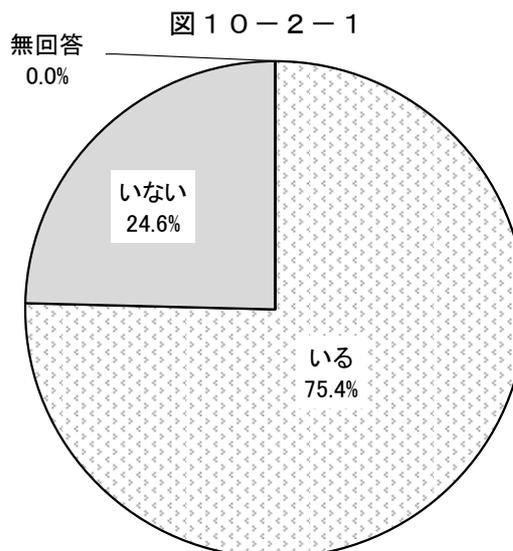
問28 あなたは、18歳未満の子どもを子育て中、またはあなたご自身もしくは配偶者が妊娠中ですか。(○は1つ)



(n = 1,923)

(問28で「はい」と答えた方に)

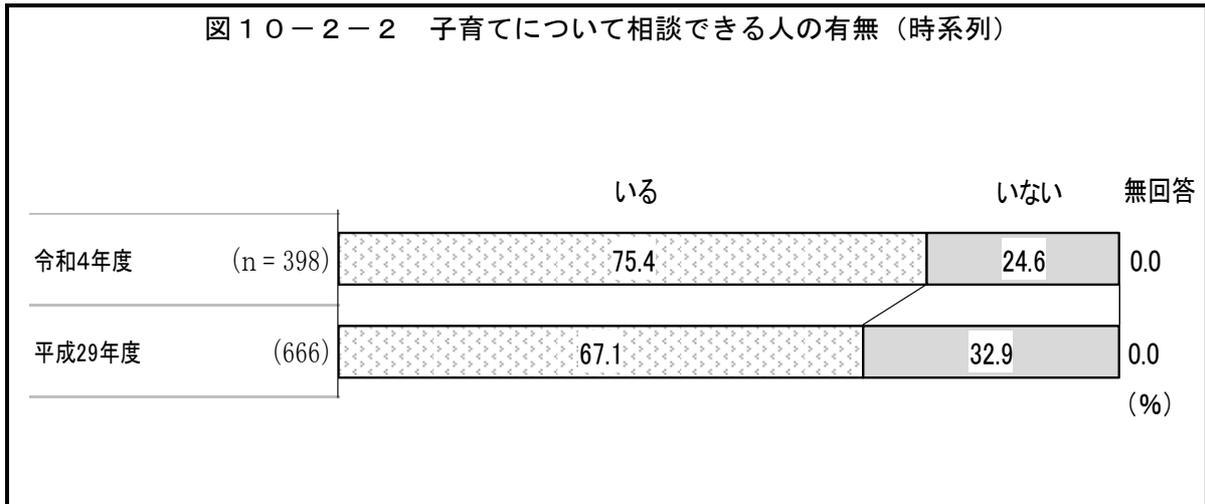
問28-1 あなたは、子育てについて相談できる人が身近な地域にいますか。(○は1つ)



(n = 398)

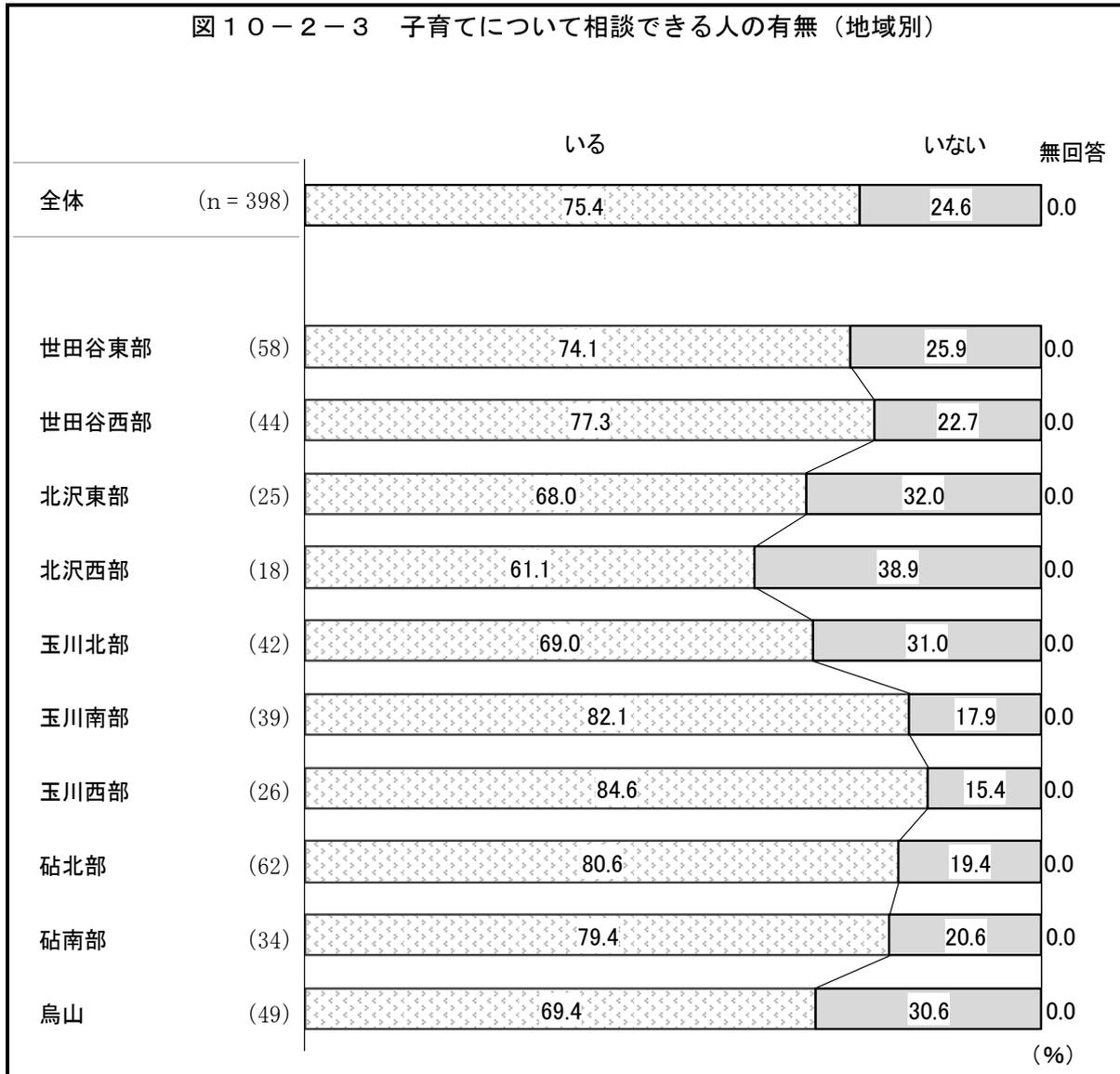
18歳未満の子どもを子育て中、またはご自身もしくは配偶者が妊娠中の方(398人)に、子育てについて相談できる人の有無について聞いたところ、「いる」(75.4%)は7割半ば、「いない」(24.6%)は2割半ばとなっている。(図10-2-1)

図10-2-2 子育てについて相談できる人の有無（時系列）



平成29年度からの時系列の変化をみると、「いない」は平成29年度（32.9%）から令和4年度（24.6%）で減少している。（図10-2-2）

図10-2-3 子育てについて相談できる人の有無（地域別）



地域別にみると、「いる」は玉川西部で8割半ば、玉川南部で8割を超えている。「いない」は北沢西部で4割近くとなっている。（図10-2-3）

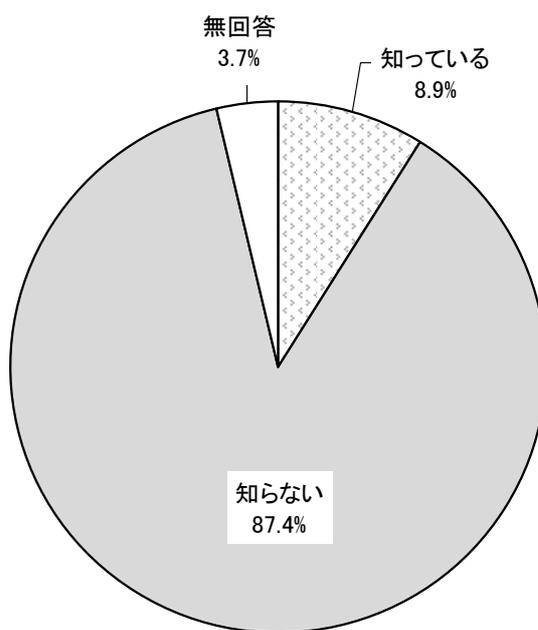
なお、基数が30に満たない層については参考値とする。

### (3) 「世田谷版ネウボラ」の認知度

#### ◎世田谷版ネウボラを「知らない」が9割近く

問29 あなたは、「世田谷版ネウボラ」という、妊娠期から就学前までの乳幼児を育てているご家庭を切れ目なく支えるため、医療機関や地域の支援の担い手と連携して相談支援していく取り組みを行っていることを知っていますか。(〇は1つ)

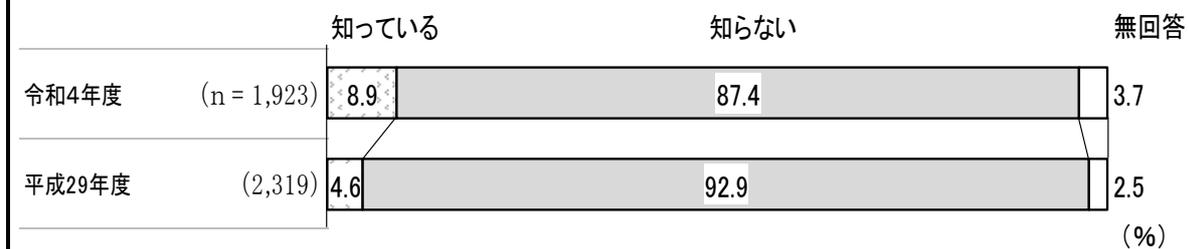
図10-3-1



(n = 1,923)

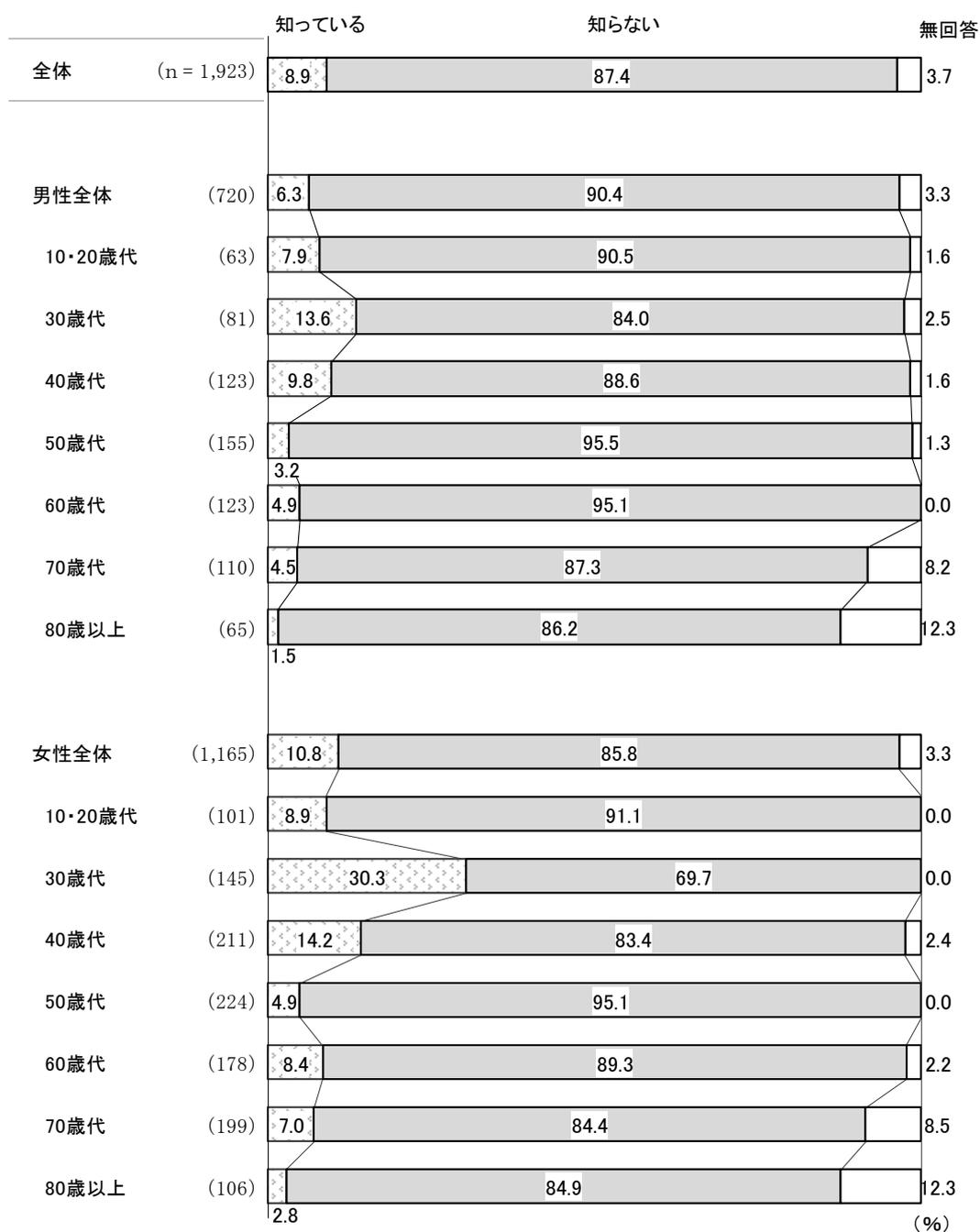
「世田谷版ネウボラ」の認知度を聞いたところ、「知っている」(8.9%)が1割に満たず、「知らない」(87.4%)が9割近くとなっている。(図10-3-1)

図 10-3-2 「世田谷版ネウボラ」の認知度（時系列）



平成 29 年度からの時系列の変化をみると、「知っている」は平成 29 年度（4.6%）から令和 4 年度（8.9%）でわずかに増加している。（図 10-3-2）

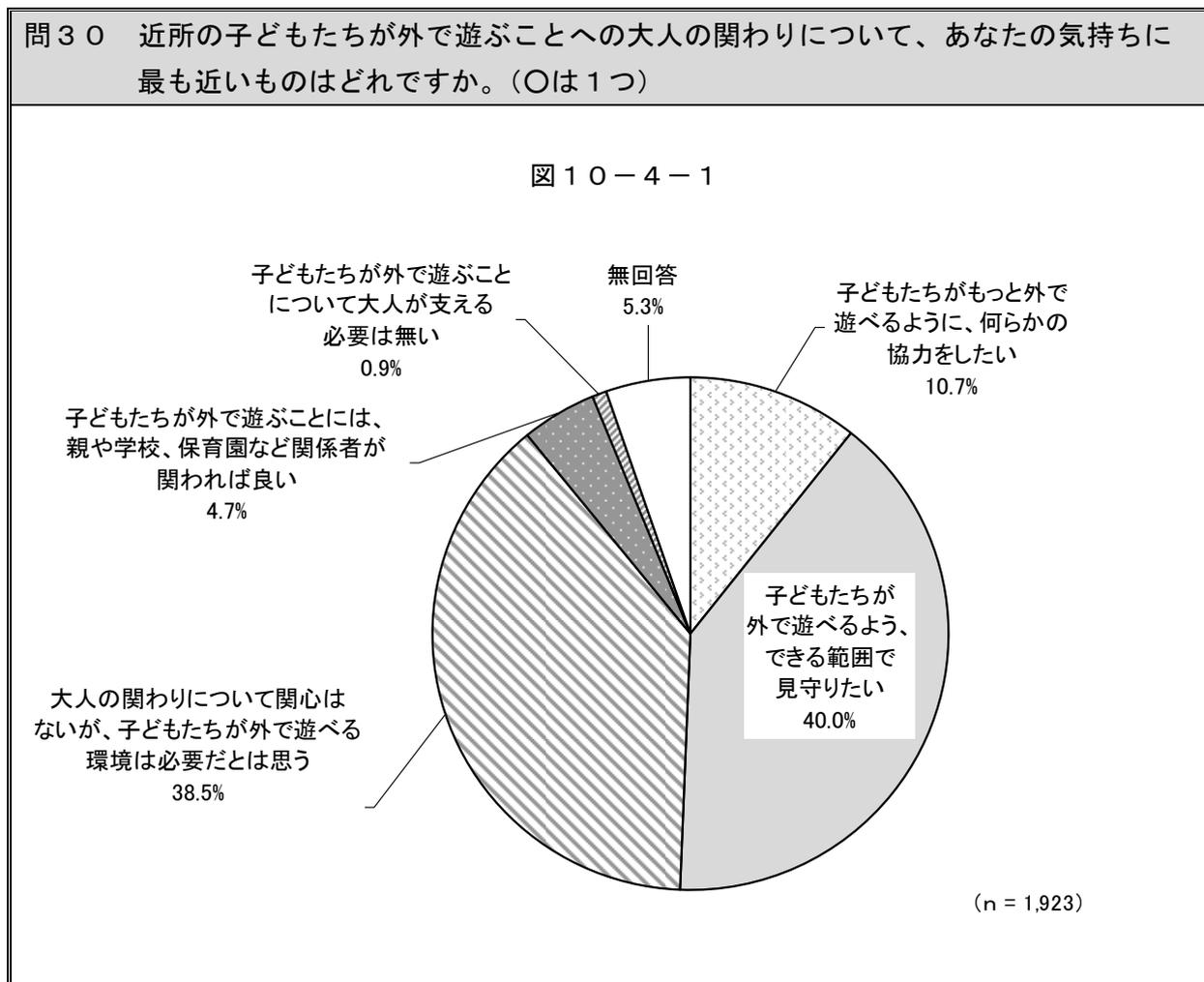
図10-3-3 「世田谷版ネウボラ」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「知っている」は、30歳代が男女とも他の年代に比べ高く、女性が3割、男性が1割を超えている。その他の年代は、女性の40歳代が1割半ば、男性の40歳代が1割にとどまっている。（図10-3-3）

#### (4) 子どもの外遊びへの大人の関わりについて

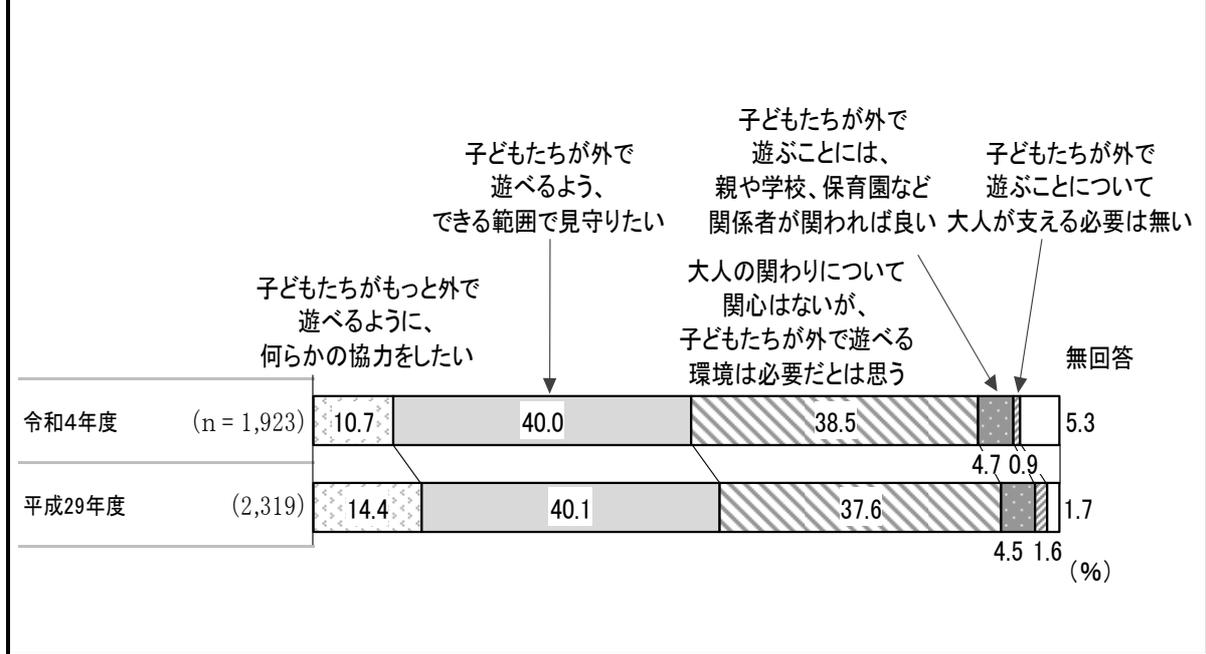
◎「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」が4割、「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だとは思う」が4割近く



子どもの外遊びへの大人の関わりについて聞いたところ、「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」(40.0%)が4割、「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だとは思う」(38.5%)が4割近くと高い。次いで、「子どもたちがもっと外で遊べるように、何らかの協力をしたい」(10.7%)がほぼ1割となっている。

(図10-4-1)

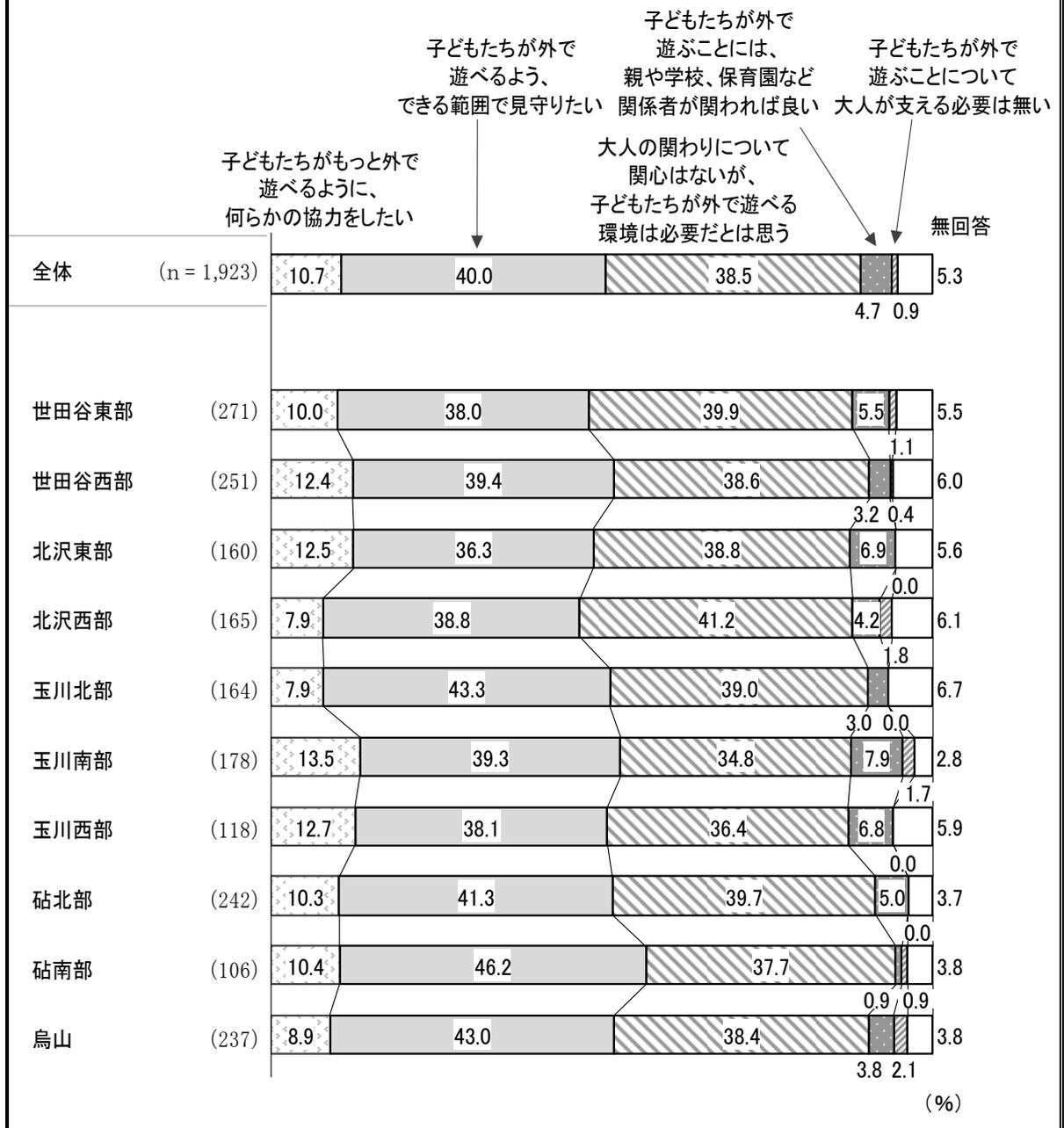
図10-4-2 子どもの外遊びへの大人の関わりについて（時系列）



平成 29 年度からの時系列の変化をみると、「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だと思う」は平成 29 年度（37.6%）から令和 4 年度（38.5%）で大きな違いはみられない。「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」も平成 29 年度（40.1%）から令和 4 年度（40.0%）で大きな違いはみられない。

（図10-4-2）

図10-4-3 子どもの外遊びへの大人の関わりについて（地域別）



地域別にみると、「大人の関わりについて関心はないが、子どもたちが外で遊べる環境は必要だ」とは北沢西部で4割を超え、「子どもたちが外で遊べるよう、できる範囲で見守りたい」は砧南部で4割半ばとなっている。（図10-4-3）